

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公表番号】特表2004-521007(P2004-521007A)

【公表日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2002-577243(P2002-577243)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 R 21/00

【F I】

B 6 0 R 21/00 6 2 6 A

B 6 0 R 21/00 6 2 6 C

B 6 0 R 21/00 6 2 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月17日(2003.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両内部空間センシング部と接続される、車両における乗員に警告をするための装置であって、

該装置は乗員(3)に対する警告装置(11、13、15)を有し、該警告装置(11、13、15)は前記車両内部空間センシング部(7)からの信号に依存して警告を出力し、

前記警告装置(11、13、15)は、前記車両内部空間センシング部(7)による前記乗員(3)のアウト・オブ・ポジション(OOP)状況の識別に依存して警告を出力する、車両における乗員に警告をするための装置において、

前記警告装置(11、13、15)は、前記乗員のアウト・オブ・ポジション(OOP)状況が所定の時間にわたり中断されず持続される場合に警告を出力することを特徴とする、車両における乗員に警告をするための装置。

【請求項2】

前記警告装置(11、13、15)は、警告を出力するための表示部(13)及び/又はスピーカ(11)及び/又は触覚的な手段(15)を有する、請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記車両内部空間センシング部(7)からの信号を評価し、前記警告装置(11、13、15)を該評価に依存して制御するプロセッサ(8)を有する、請求項1または2記載の装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

車両乗員の位置を識別するために車両内部空間センシング部を使用することが公知である。このことは、センサシステムとして構成されているインテリジェンスで受動的な内部

空間センシング部コンセプトに該当する。これに属するものとして、超音波センサ、アクティブ赤外線センサ、例えばステレオビデオカメラまたはステレオ C C D カメラのような内部空間カメラ、レーダセンサ、ここでは S A R (合成開口レーダ、Synthetic Aperture Radar) レーダコンセプト、例えばひずみゲージを基礎とする絶対重量センサ、例えばシートマット、着座位置センサ、ヘッドレスト位置センサ、背もたれ勾配センサ、ベルト着用センサ (Gurtbenutzungssensoren)、ベルト力センサ (Gurtkraftsensoren)、チャイルドシート識別センサのような乗員識別センサ、またはそのようなセンサコンセプトの組み合わせたものも挙げられる。この情報は拘束システムをトリガするために使用される。

刊行物 D E 1 9 8 5 6 3 1 1 A 1 から、車両乗員の着座位置に依存して、音響的及び / 又は光学的な警告を出力することが公知である。ここでは例えばアウト・オブ・ポジション状況が監視される。刊行物 D E 1 9 9 0 0 3 9 5 A 1 から、アウト・オブ・ポジション状況時に警告を出力する以外にも、エアバッグも遮断されることが公知である。